

地域おこし協力隊 退任のごあいさつ

3年間たくさんの方にお世話になりました。佐渡の土地、人との出会いが、私の未熟な面を叱咤し、良い面は褒め伸ばしてくれました。佐渡にいなかったらできなかった成長があり、その思い出がいくつも心に刻まれています。

「いよいよ次は私だ」今はこんな気持ちです。今まで何人も隊員が卒業し、その先輩方の後ろ姿を見ながら、ここからが本当のスタートということをお教えされました。任期後は、新規就農を目指している夫と二人佐渡に引き続き暮らします。これからは私を成長させてくれた佐渡へ、自分たちができることから少しずつ恩返しをしていきたいと思っています。

3年間本当にありがとうございました。思い出の活動地区「佐和田」の海岸にてあいさつを締めさせていただきます。

商店街活性化（佐和田地区）担当
齊藤 千里さん

（任期：平成27年3月～30年2月末）



外海府地区担当

重盛 真知子さん

（任期：平成27年3月～30年2月末）



私が佐渡で地域おこし協力隊の仕事を選んだ理由は、2つあります。1つ目は外海府に住むこと。2つ目はその土地の方々がたくさんかわることです。

地域おこし協力隊でなくても叶えられそうな2つですが、3年間で経験した数多くのできごとは、やはりこの仕事ならではのものばかりです。

自分にとってはすべての物事が新鮮で、たった3年で「慣れ」がやって来ることはありませんでした。ただ、この景色を見るのも3回目だな、とか、またこの季節がやって来たな、といった「繰り返し」を重ねていく中で少しずつ馴染んでいく部分があり、それが無性にうれしくもありました。振り返れば楽しい事以上につらい日々も多くありましたが、いつもそばで優しく声を掛けて下さる地元の方々のおかげで、無事に任期を終えることができます。本当にお世話になりました。これからも、どうぞよろしくお願ひ致します。

一昨年の2月に着任し、佐渡棚田協議会と猿八集落を担当させていただいていましたが、家庭の事情により佐渡を離れることになりました。

佐渡棚田協議会では、2016年の第22回全国棚田・千枚田サミットにおける企画や、棚田米の販売、PR活動に携わりました。生産者の方の米作りにかかる思いや苦勞を知りつつ、それを米の販売につなげる難しさを学びました。

猿八集落では祭礼行事や道普請のほか、夏の共同舞台にもかわらせていただきました。集落のみなさんの温かさに触れ、集落での暮らしを感じる貴重な体験となりました。

任期を1年近く残して退任するのは申し訳ない気持ちで一杯ですが、佐渡で得たものを糧に新しい土地で暮らしていきたいと思ひます。

今まで本当にありがとうございました。

猿八地区・佐渡棚田協議会担当
近藤 千扇さん

（任期：平成28年2月～30年1月）

